

## 三菱UFJリース、仮想化機能を活用して基幹システムのインフラを刷新

2010年11月1日

三菱UFJリース株式会社（取締役社長：村田隆一、以下 三菱UFJリース）は、多様化、高度化するお客様のニーズにお応えするために、基幹システムのインフラを刷新いたします。インフラ刷新に当たり、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社（取締役社長：門脇三雄、以下 MDIS）が設計・構築をとりまとめ、日本アイ・ビー・エム株式会社（取締役社長：橋本孝之、以下 日本IBM）が高度な仮想化機能を備えたサーバーおよびストレージ装置を提供し、2011年5月の稼働を目指します。

三菱UFJリースは、中期経営計画における経営基盤強化戦略の一つとして、IT戦略の強化に取り組んでいます。今回その取組みの一つとして、営業活動の基盤となる基幹システムのインフラを刷新いたします。インフラ刷新による経営基盤の強化・高度化を図ることで、グループ全体の生産性向上と更なる情報の共有化、新しい商品サービスの開発とご提供を従来以上に進めてまいります。

本システムでは、IBMの最新高速汎用プロセッサ「POWER7」を搭載するサーバーを採用、その仮想化機能により、現在、三菱UFJリースが保有する26台の基幹UNIXサーバーを7台に統合致します。また、データ量増加への対応と、高い信頼性、高速処理性能を実現するために、IBMのストレージ仮想化技術を活用して複数のストレージ装置を1つの装置として扱えるようにし、三菱UFJリースグループ各社の基幹システムが取り扱うデータを一元的に管理します。

三菱UFJリースは、業界を代表する総合ファイナンスカンパニーとして、IT基盤の強化を通じて、生産性の向上と提供機能の拡充を図り、お客様に多様な商品サービスをご提供してまいります。

### 主な採用製品

- POWER7プロセッサ搭載UNIXサーバー「IBM Power 795」
- 仮想化グリッド・アーキテクチャーによるディスク・ストレージ装置「IBM XIV Storage System」
- IBMのディスク・ストレージ装置の最上位機「IBM System Storage DS8700」
- 複数のストレージ装置を1台として管理できる仮想化装置「IBM System Storage SAN ボリューム・コントローラー」

IBM、IBMロゴ、ibm.com、およびPOWER7、System Storage、XIV は、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点での IBMの商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。UNIX はThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

### お問い合わせ先

このトピックに関するお問い合わせは、[お問い合わせフォーム](#)よりお願いいたします。